

## 平成28年8月期 第1四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

平成28年1月8日

上場会社名 株式会社AFC-HDアムスライフサイエンス  
 コード番号 2927 URL <http://www.ams-life.com/>  
 代表者 (役職名) 代表取締役  
 問合せ先責任者 (役職名) 取締役社長室長  
 四半期報告書提出予定日 平成28年1月14日  
 配当支払開始予定日 —  
 四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無  
 四半期決算説明会開催の有無 : 無

上場取引所 東

(氏名) 浅山雄彦  
 (氏名) 白鳥弘之

TEL 054-281-5238

(百万円未満切捨て)

### 1. 平成28年8月期第1四半期の連結業績(平成27年9月1日～平成27年11月30日)

#### (1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
28年8月期第1四半期	3,848	14.2	344	98.6	327	97.0	220	121.1
27年8月期第1四半期	3,371	△2.4	173	△20.6	166	△17.6	99	△23.0

(注)包括利益 28年8月期第1四半期 217百万円 (94.5%) 27年8月期第1四半期 111百万円 (△27.3%)

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円銭	円銭
28年8月期第1四半期	18.31	18.25
27年8月期第1四半期	8.41	8.37

#### (2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
28年8月期第1四半期	16,770	7,185	42.8
27年8月期	17,266	7,088	40.8

(参考)自己資本 28年8月期第1四半期 7,173百万円 27年8月期 7,041百万円

### 2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円銭	円銭	円銭	円銭	円銭
27年8月期	—	5.00	—	10.00	15.00
28年8月期	—	—	—	—	—
28年8月期(予想)	—	5.00	—	5.00	10.00

(注)直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

### 3. 平成28年 8月期の連結業績予想(平成27年 9月 1日～平成28年 8月31日)

(%表示は、通期は対前期、四半期は対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円銭
第2四半期(累計)	7,300	7.7	500	41.7	480	46.4	280	30.8	23.15
通期	15,000	4.1	1,050	10.4	1,000	12.1	600	△0.9	49.61

(注)直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 無

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 有
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)

② 期末自己株式数

③ 期中平均株式数(四半期累計)

28年8月期1Q	12,189,720 株	27年8月期	12,189,720 株
28年8月期1Q	96,803 株	27年8月期	144,703 株
28年8月期1Q	12,066,797 株	27年8月期1Q	11,877,981 株

※四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期レビュー手続の対象外であり、この四半期決算短信の開示時点において、金融商品取引法に基づく四半期財務諸表のレビュー手続は終了していません。

※業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績の見通し等将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。なお、業績予想に関する事項は、四半期決算短信の添付資料3ページ「(3)連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報 .....	2
(1) 経営成績に関する説明 .....	2
(2) 財政状態に関する説明 .....	3
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明 .....	3
2. サマリー情報(注記事項)に関する事項 .....	4
(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動 .....	4
(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 .....	4
(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示 .....	4
3. 四半期連結財務諸表 .....	5
(1) 四半期連結貸借対照表 .....	5
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書 .....	7
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項 .....	9
(継続企業の前提に関する注記) .....	9
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記) .....	9
(セグメント情報等) .....	9

## 1. 当四半期決算に関する定性的情報

### (1) 経営成績に関する説明

当第1四半期（平成27年9月1日～平成27年11月30日）におけるわが国の経済は、企業収益や雇用環境に改善が見られるなど緩やかな回復基調が続きました。一方、中国をはじめとする海外景気の下振れなどが国内経済を下押しする懸念要因となっております。

当社グループが属する健康食品業界は、高齢者人口の増加と消費者の健康維持・増進、美容・アンチエイジングに対する意識の高さから、今後とも潜在需要は引き続き堅調に推移するものと思われます。しかしながら、企業間の競争は、広告投入による顧客獲得競争や価格競争の面で一段と激しさを増しており、厳しい経営環境が続いております。

このような状況の下、当社グループの基幹事業であるOEM部門では、青汁やスムージーなど一般食品寄りの商品が好調に推移し、同部門の売上高が前年同期比17.5%増となったほか、競合激化などにより近年苦戦を強いられていた通信販売部門・卸販売部門・店舗販売部門においても、前年同期の売上高を上回ったことから、当第1四半期の連結売上高は3,848百万円（前年同期比14.2%増）となりました。損益については、増収による売上総利益の増加が影響し、営業利益は344百万円（前年同期比98.6%増）、経常利益は327百万円（前年同期比97.0%増）、四半期純利益は220百万円（前年同期比121.1%増）となりました。

大手企業が先行している機能性表示食品への取り組みは、原料メーカー・販社とともに積極的に対応してまいります。

セグメントの業績を示すと、次のとおりであります。

#### ①ヘルスケア事業

##### ・OEM部門

前期に続き、青汁やスムージーなど一般食品寄りの商品が好調に推移したことに加え、ソフトカプセルや打錠品が安定的に売上を伸ばし、売上高は前年同期比17.5%増となりました。

重要課題である人材の育成については、徐々にではありますが着実に進んでおります。

##### ・海外部門

アジア地域を主な取引先とする当部門は、シンガポールにおいてアイケア商材が好調に推移いたしました。また、イスラム圏であるインドネシア、マレーシアなどの顧客開拓に努めましたが、既存取引先への売上タイミングのずれが影響し、当部門の売上高は前年同期を下回る結果となりました。

##### ・通信販売部門

引き続きインターネット販売において『葉酸サプリ』が堅調に推移いたしました。また、本年1月のポイントサービス変更を前に、保有ポイントの利用に伴う受注が増加し、当部門の売上高は前年同期を上回る結果となりました。

##### ・卸販売部門

インバウンド商材および中国やベトナムへ販売を行う国内外の企業からの受注が伸びいたしました。また、スーパーフードのブーム商品「ホワイチアシード」も好調な売れ行きにより、売上高は前年同期を上回る結果となりました。

##### ・店舗販売部門

当部門は、“百貨店における店舗販売” “百貨店外商部との協同販売” “百貨店とタイアップした通信販売” の3つを主要な販路としております。

前期に続き、百貨店外商部、店舗において健康食品の定期購入・頒布会を積極的に提案し、優良顧客の囲い込みによる収益の拡大と安定化に努めました。また、主に中国人観光客へ向けた広告を強化し店舗へ誘導するとともに、店舗では多言語のPOP、チラシなどインバウンドに対応した販促物の充実を図りました。その結果、売上高は前年同期を上回りました。

以上の結果、ヘルスケア事業の業績は、売上高3,538百万円（前年同期比16.1%増）、営業利益432百万円（前年同期比67.0%増）（全社費用調整前）となりました。

## ②医薬品事業

医薬品市場は、大別して医師の処方箋に基づき病院・診療所、調剤薬局で購入する医療用医薬品市場と、医師の処方箋が要らず、ドラッグストアで購入する一般用医薬品市場に分けられます。

医療用医薬品事業は、主力の製造承認を取得した医療用漢方製剤40品目について、医師、薬剤師及び医薬品卸の営業担当者に対して、品質・安全性の確保に対する取り組みのほか、同業他社の製品と比べ効能効果の同等性が極めて高いこと及び患者さんの経済的負担（医療費の自己負担）が小さいことなどを説明してきました。

また、一般用医薬品事業についても、積極的な営業活動及び販売促進活動などを行いました。不採算店舗の閉鎖などが影響し、医薬品事業の売上高は309百万円（前年同期比4.2%減）、営業利益は18百万円（前年同期比42.7%減）（全社費用調整前）となりました。

## （2）財政状態に関する説明

### ①流動資産

当第1四半期連結会計期間末における流動資産合計は、前連結会計年度末に比べ508百万円減少し、8,455百万円となりました。この減少要因は主として、有利子負債の返済を進めたことなどにより現金及び預金が276百万円減少したほか、流動資産のその他が139百万円、受取手形及び売掛金が110百万円減少したことによるものであります。

### ②固定資産

当第1四半期連結会計期間末における固定資産合計は、前連結会計年度末に比べ12百万円増加し、8,314百万円となりました。この増加要因は主として、償却により有形固定資産が36百万円減少した反面、無形固定資産のその他が31百万円、投資その他の資産のその他が17百万円増加したことによるものであります。

### ③流動負債

当第1四半期連結会計期間末における流動負債合計は、前連結会計年度末に比べ377百万円減少し、6,433百万円となりました。この減少要因は主として、流動負債のその他が64百万円増加した反面、支払手形及び買掛金が335百万円、未払法人税等が138百万円減少したことによるものであります。

### ④固定負債

当第1四半期連結会計期間末における固定負債合計は、前連結会計年度末に比べ215百万円減少し、3,150百万円となりました。この減少要因は主として、返済により長期借入金が224百万円減少したことによるものであります。

### ⑤純資産

当第1四半期連結会計期間末における純資産合計は、前連結会計年度末に比べ96百万円増加し、7,185百万円となりました。この増加要因は、四半期純利益の計上により利益剰余金が100百万円増加したことによるものであります。

## （3）連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

連結業績予想につきましては、平成27年10月9日の「平成27年8月期 決算短信」で公表いたしました第2四半期連結累計期間及び通期の連結業績予想に変更はありません。

2. サマリー情報(注記事項)に関する事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動

該当事項はありません。

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用

該当事項はありません。

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

会計方針の変更

「企業結合に関する会計基準」(企業会計基準第21号 平成25年9月13日)、「連結財務諸表に関する会計基準」(企業会計基準第22号 平成25年9月13日)及び「事業分離等に関する会計基準」(企業会計基準第7号 平成25年9月13日)等を、当第1四半期連結会計期間から適用し、四半期純利益等の表示の変更及び少数株主持分から非支配株主持分への表示の変更を行っております。当該表示の変更を反映させるため、前第1四半期連結累計期間及び前連結会計年度については、四半期連結財務諸表及び連結財務諸表の組替えを行っております。

3. 四半期連結財務諸表

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成27年8月31日)	当第1四半期連結会計期間 (平成27年11月30日)
<b>資産の部</b>		
流動資産		
現金及び預金	4,038,864	3,762,074
受取手形及び売掛金	2,089,549	1,979,262
商品及び製品	928,249	945,759
仕掛品	627,026	728,597
原材料及び貯蔵品	889,158	787,976
その他	396,062	256,188
貸倒引当金	△5,248	△4,408
流動資産合計	8,963,664	8,455,452
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物（純額）	2,854,698	2,806,550
土地	4,243,457	4,243,457
その他（純額）	709,107	721,059
有形固定資産合計	7,807,263	7,771,067
無形固定資産		
のれん	5,101	4,846
その他	47,211	78,776
無形固定資産合計	52,313	83,623
投資その他の資産		
その他	471,797	488,931
貸倒引当金	△28,943	△28,943
投資その他の資産合計	442,854	459,988
固定資産合計	8,302,430	8,314,679
資産合計	17,266,094	16,770,131
<b>負債の部</b>		
流動負債		
支払手形及び買掛金	2,199,227	1,863,824
短期借入金	2,979,149	2,976,681
未払法人税等	245,223	106,513
賞与引当金	93,700	138,420
ポイント引当金	41,000	31,000
その他	1,253,331	1,317,387
流動負債合計	6,811,631	6,433,826
固定負債		
長期借入金	2,257,454	2,032,568
役員退職慰労引当金	364,545	369,141
退職給付に係る負債	223,684	230,963
負ののれん	3,379	3,238
その他	516,819	514,816
固定負債合計	3,365,882	3,150,728
負債合計	10,177,514	9,584,554

(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成27年8月31日)	当第1四半期連結会計期間 (平成27年11月30日)
<b>純資産の部</b>		
株主資本		
資本金	1,405,498	1,405,498
資本剰余金	1,473,171	1,470,444
利益剰余金	4,263,957	4,364,494
自己株式	△105,937	△70,870
株主資本合計	7,036,690	7,169,567
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	4,622	4,297
その他の包括利益累計額合計	4,622	4,297
新株予約権	43,550	11,258
非支配株主持分	3,716	453
純資産合計	7,088,580	7,185,577
負債純資産合計	17,266,094	16,770,131



(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

四半期連結損益計算書

第1四半期連結累計期間

(単位：千円)

	前第1四半期連結累計期間 (自平成26年9月1日 至平成26年11月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自平成27年9月1日 至平成27年11月30日)
売上高	3,371,031	3,848,502
売上原価	2,361,939	2,664,868
売上総利益	1,009,091	1,183,633
販売費及び一般管理費	835,487	838,794
営業利益	173,604	344,838
営業外収益		
受取利息	27	29
受取配当金	12,811	231
受取賃貸料	4,914	4,792
負ののれん償却額	140	140
その他	3,450	2,410
営業外収益合計	21,344	7,605
営業外費用		
支払利息	25,011	21,516
その他	3,676	3,438
営業外費用合計	28,688	24,954
経常利益	166,260	327,489
特別利益		
投資有価証券売却益	1,127	2,544
特別利益合計	1,127	2,544
特別損失		
固定資産除却損	177	11,026
投資有価証券売却損	—	1,377
特別損失合計	177	12,404
税金等調整前四半期純利益	167,209	317,628
法人税、住民税及び事業税	97,280	93,981
法人税等調整額	△28,791	5,923
法人税等合計	68,489	99,904
四半期純利益	98,720	217,724
非支配株主に帰属する四半期純損失(△)	△1,206	△3,263
親会社株主に帰属する四半期純利益	99,926	220,987

四半期連結包括利益計算書

第1四半期連結累計期間

(単位：千円)

	前第1四半期連結累計期間 (自平成26年9月1日 至平成26年11月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自平成27年9月1日 至平成27年11月30日)
四半期純利益	98,720	217,724
その他の包括利益		
其他有価証券評価差額金	13,049	△324
その他の包括利益合計	13,049	△324
四半期包括利益	111,769	217,399
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	112,976	220,662
非支配株主に係る四半期包括利益	△1,206	△3,263

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(セグメント情報等)

I 前第1四半期連結累計期間(自平成26年9月1日至平成26年11月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位：千円)

	報告セグメント		合計
	ヘルスケア事業	医薬品事業	
売上高			
外部顧客への売上高	3,047,649	323,382	3,371,031
セグメント間の内部売上高 又は振替高	—	—	—
計	3,047,649	323,382	3,371,031
セグメント利益	258,775	31,450	290,225

2. 報告セグメントの利益又は損失の金額の合計額と四半期連結損益計算書計上額との差額及び当該差額の主な内容  
(差異調整に関する事項)

(単位：千円)

利益	金額
報告セグメント計	290,225
全社費用(注)	△116,621
四半期連結損益計算書の営業利益	173,604

(注)全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費であります。

3. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

該当事項はありません。

II 当第1四半期連結累計期間(自 平成27年9月1日 至 平成27年11月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位：千円)

	報告セグメント		合計
	ヘルスケア事業	医薬品事業	
売上高			
外部顧客への売上高	3,538,544	309,957	3,848,502
セグメント間の内部売上高 又は振替高	—	—	—
計	3,538,544	309,957	3,848,502
セグメント利益	432,243	18,033	450,276

2. 報告セグメントの利益又は損失の金額の合計額と四半期連結損益計算書計上額との差額及び当該差額の主な内容  
(差異調整に関する事項)

(単位：千円)

利益	金額
報告セグメント計	450,276
全社費用(注)	△105,437
四半期連結損益計算書の営業利益	344,838

(注)全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費であります。

3. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報  
該当事項はありません。